

令和6(2024)年度事業計画

一般財団法人 保健福祉広報協会

一般財団法人 保健福祉広報協会は、国内外の福祉機器に関する有益な情報の提供及び福祉・介護等福祉制度・社会保障分野の発展に資する事業を行うことを目的として、ともに生きる豊かな社会づくりをめざし、国際福祉機器展を基軸の事業として開催してきている。そのうえで、公益目的事業として保健福祉の推進のための広報や調査研究事業の実施とともに、福祉・介護・保健・リハビリ等社会保障・福祉制度の課題や最新動向をテーマにしたシンポジウム、セミナー・講座を開催し、わが国の保健福祉のさらなる増進に努めていく。

とりわけ国際福祉機器展 H.C.R.は昨年、初回開催から半世紀となった。本年度も 2025 年を目前にし、超高齢社会、少子化、人口減少が 2040 年に向け進んでいくわが国の保健福祉の現状と課題をふまえつつ、豊かで活力ある未来を創造することをめざし、高齢者、障害のある人々、子どもたちの自立生活、社会参加のためのセミナー・講座やスポーツ体験等を「H.C.R.フォーラム」として位置づけ、企画実施する。これらの多様な事業を実施することをもって、地域共生社会づくりに資する情報発信を行うとともに、H.C.R.として福祉機器の開発と普及を一層促進するための最新展示と関係情報提供などを企画実施する。

本年度においても「国際福祉機器展&フォーラム」を総称とし、実展示会ならびにオンラインでの Web 展示会、および保健福祉フォーラムを同時開催する。

1. 実施事業等会計事業（公益目的事業）

(1) ふくしの国際シンポジウム開催事業

① 国際シンポジウムの開催

- ・ 今後アジア諸国に共通する高齢化をめぐる課題と高齢者の自立を支えるための関係制度や支援施策、取り組みの実態に関する最新情報を共有することを内容としたシンポジウムを、韓国、台湾、タイの専門家や実践者等の招へいと日本のレポーターにより開催する。
- ・ また、全社協にて実施している「アジア社会福祉従事者研修事業」が 40 周年を迎えるにあたり、8 か国約 180 名に及ぶ修了生の代表者（フィリピン、マレーシア、インドネシア、スリランカ）の現地での福祉活動報告や今後の展望も共有することで、国際的な福祉や支援活動の発展に役立つ情報を広く発信する。

(2) ふくしのセミナー・講座開催事業

① 福祉機器、福祉サービスの利用者・家族等一般向けセミナー

- ・ 高齢者、障害者（児）やその家族、またはさまざまな生活課題のある人々を対象に、社会福祉・社会保障制度や福祉サービスを利用する際に必要な知識や情報、福祉機器の有効活用に関する情報等を、セミナーの開催により提供する。
- ・ 2025 年問題を前に、超高齢・人口減少社会における対応が迫られる中、移動や住居、孤独・孤立、フレイル、認知症などの高齢者をめぐるさまざまな諸問題に対して、多様な実践を交えたセミナーの開催を通し、誰もが自立し生きがいのある豊かな生活を営むことができる地域共生とそのコミュニティを維持する社会づくりを展望するための情報提供をはかる。
- ・ 高齢者や障害のある人のための日常生活における ICT 機器利活用の情報等を盛り込んだセミナーを開催し、自立促進と社会参加に資する情報提供を行う。

- ② 福祉施設・在宅サービス事業所等役職員向け講座
 - ・ 福祉施設等における支援やサービスの質の向上を目的とした事故防止について学ぶセミナーを開催する。
- ③ 福祉機器の選定・利用専門職講座（仮称）
 - ・ 20年を経過した「選び方・使い方セミナー」を見直し、専門職向けの講座の実施を検討する。
 - ・ この間、福祉機器は多岐にわたり開発され、その種類も大幅に増えている。また、超高齢社会に向け在宅介護での需要がますます見込まれるところである。その適切な選定と利用をはかっていくためには福祉機器に関する専門性を高める必要があり、ケアマネジャー、介護職、リハビリ・OT・PT、看護職等専門職を対象とした講座の実施を検討する。
- ④ 福祉機器関連企業・団体等役職員向け講座
 - ・ 福祉機器関連企業・団体役職員を対象に、障害のある者の雇用・就労に関する最新情報を共有し、そのノウハウに学ぶセミナーを開催する。

(3) H.C.R. ニュース発行事業

- ① 保健福祉 News による情報提供の充実
 - ・ 「保健福祉 News」を発行し、国内外の保健福祉分野における情報提供を行う。また、H.C.R.Web ページの充実により社会福祉関係者はもとより、行政、関係企業、利用者や家族にまで広く情報提供を図る。
 - ・ さらに有効な情報発信化のため、発送先、送付先対象を明確にしたうえで紙媒体と Web 版の併用を考慮した、より効果的・効率的な発信の方策を検討する。

〔発行予定〕 日本語版 年 5 回発行 / 英語版 年 1 回発行

(4) 広報・調査研究事業

- ① 世界の福祉機器市場の動向等に関する調査の実施
 - ・ 海外の福祉機器展示会や市場動向に関する情報収集を行う。さらに収集した情報等をまとめ、世界の各エリアの福祉機器開発普及トレンド情報などを発信する取り組みを行い、保健福祉 News、Web ページ等を通じて公表することでわが国の関係者への情報提供の促進を図るとともに、さらなる事業展開に資する。
- ② 福祉機器関連調査の実施
 - ・ わが国の福祉機器に関する市場、ニーズ、展示場等、福祉機器に関わる調査を実施し、その実態を把握するとともに、保健福祉 News や Web ページに掲載し関係者への情報提供をはかる。
- ③ アジアの福祉事情と機器展示をめぐる動向調査
 - ・ 台湾等福祉機器展示会を視察し、アジアにおける高齢者・障害者福祉施策の動向とトレンドな機器・用品の情報を得て、視察調査結果を保健福祉 News 等で報告し、国内外の福祉機器開発・普及促進に幅広く貢献する。

- ④ 出版刊行、情報普及事業
- ア) 「福祉・介護・リハビリ専門職のための福祉機器活用ガイドブック（仮称）」
令和7年度の刊行をめざし、制作の検討を進める。
- イ) 国際シンポジウム2024 報告
H.C.R.2024 で開催する国際シンポジウムの内容をまとめ、保健福祉 News にて報告する。
- ウ) H.C.R.セミナー2024 報告
H.C.R.2024 で開催する H.C.R.セミナーの内容をまとめ、保健福祉 News にて報告する。
- エ) 保健福祉広報協会ホームページのリニューアル
ホームページを全面改変し、年齢や障害の有無や種別に関わらず、すべての人が Web 上に掲載される情報へアクセスしやすい環境を整える（Web アクセシビリティの向上）等の機能向上をすすめ、情報発信の強化につなげる。

2. 国際福祉機器展開催等事業

(1) 国際福祉機器展開催事業

- ① H.C.R.2024 第51回国際福祉機器展&フォーラム開催
- ア. 共 催： 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
- イ. 開催形態： 実展示会：東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール
Web 展：H.C.R.Web サイト内
- ウ. 期 日： 令和6（2024）年10月2日（水）～10月4日（金）
※Web 展は、同年9月2日（月）～11月1日（金）17:00 まで開催
- エ. 出展社数： 約400社（見込）
※申込締切日：令和6（2024）年3月29日
- オ. 来場者数： 実展示会：10万人 / Web 展閲覧数：200万ビュー（見込）
- ② 国内外企業への出展勧奨の強化
- 出展企業の国内外からの参加・協力をより得られるよう、出展要請を強化する。特に介護分野の人材不足や事業の効率化等をはかる ICT 情報通信、介護補助ロボットの出展を働きかける。あわせて、アジアでの福祉機器の利用普及をはかるとともに、アジア諸国の在日大使館を通じた働きかけを強化する。
- ③ 福祉サービス利用者への福祉機器情報相談提供事業
- 福祉機器等に関する利用者の相談に応じるため、OT、PT、エンジニア、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員等の専門家がきめ細かくアドバイスを行う福祉機器や自助具等に関する各種相談の場を国際福祉機器展の会場内に設置し、相談・支援事業を行う。
- ④ 子ども・子育て支援に関する情報提供事業
- 国際福祉機器展の会場内に「子ども広場」を設け、子ども向けの車いすや日常生活支援用品、学習機器やコミュニケーション機器等の福祉機器を総合的に展示・紹介し、子育て家庭の保護者と子どもが参加して試せる機会を設ける。
 - 障害児福祉関係施設職員・リハビリ専門家や保育士等による、子ども用の福祉機器の利用や療育等に関する情報提供・相談を行い、実施内容を保健福祉 News 等により広報する。

- ⑤ 福祉機器等に関するトピックスや最新情報の提供事業
 - ・ 国際福祉機器展の会場内で福祉機器開発の最前線情報の発信や、パラスポーツやeスポーツの体験、障害のあるアーティストのデザインを活かした作品づくりワークショップ、補助犬関連情報を得られる場等を通じて、障害の理解を一層深めることに資する。
- ⑥ 福祉の魅力・情報発信
 - ・ 福祉現場における人材確保が急務となる中、福祉現場・仕事の魅力や福祉の本質、施設・事業所の公益的な取り組みの情報を発信する場を設置し、福祉人材の確保や定着につなげる。
 - ・ 国際福祉機器展のフォーラム機能をいっそう具現化した運営を展開するため、展示会来場者等との双方向性を持たせた参加型の情報発信・交流が可能な機能を会場内に設ける。
- ⑦ 福祉機器紹介
 - ・ 出展社の協力のもと Web ページにて多様な機器紹介を実施するとともに、閲覧内容の充実を図る。
- ⑧ 大規模災害への福祉現場における備え、被災対応・対策と被災地への支援事業
 - ・ 社会福祉施設や法人における大規模災害時の対応について、災害時に役立つ機器や設備、取り組みの紹介を通して、日常的に行う緊急時への備えやBCPの策定に資する情報を提供し、防災意識の向上につなげる。
 - ・ 被災地域の障害者施設・事業所の支援のため、国際福祉機器展の会場内で障害者就労支援事業による製品の販売協力を行う。

(2) 福祉機器／保健福祉情報提供事業 (H.C.R. Web サイト等による事業)

- ① Web サイト・アプリの充実
 - ・ Web サイトをリニューアルし、H.C.R.広報活動の強化と認知度向上を図るとともに、Web サイトやアプリ経由でのH.C.R.への来場者の確保を図る。特に英語版の情報量強化を行い、海外への発信力強化につなげる。
 - ・ 福祉機器情報、常設展示場情報、保健福祉 News の保健福祉情報、海外の福祉機器展情報を掲載する等、福祉機器及び展示会に関する幅広い情報提供を行う。
 - ・ さらに、アプリにおいてはH.C.R.会場マップとのリンク使用やアンケート機能、各種お知らせ機能など利便性の良いものとして充実させる。
- ② プレスリリースの発行、配信
 - ・ H.C.R.開催に向け、マスコミ等にプレスリリースの発行、配信を行う。
- ③ インターネット媒体を活用した広報の発信
 - ・ 本会事業ならびにH.C.R.を周知し、さらに国内外の福祉機器や関連制度・動向等の情報を発信するため、Facebook および X (旧 Twitter) 等のソーシャル・ネット・ワーキングサービス (SNS) や本会ホームページ、さらにメールマガジンを用いた配信を行う。

3. 会務の運営

- (1) 理事会の開催 (3回、必要に応じ臨時開催) 6月3日、10月2日、2025年3月
- (2) 評議員会の開催 (3回、必要に応じ臨時開催) 6月26日、10月2日、2025年3月
- (3) 監事会の開催 (1回) 5月27日